

# あなん

## 市議会だより

平成30年（2018年）5月

第146号

市議会3月定例会から  
平成30年度一般会計当初予算  
343億6000万円(前年度比1.8%増)を可決

### もくじ CONTENTS

3月定例会の概要	2
決算の審査概要	3
一般質問	4~10
委員会の審査状況	11
議決結果一覧	12

## 3月定例会の概要

3月定例会は3月2日から23日までの22日間の会期で開きました。

今議会では、条例の制定議案4件、条例の一部改正議案8件、条例の廃止議案1件、補正予算議案8件、当初予算議案18件、人事議案4件の計43件の市長提出議案と議員提出議案1件を審議しました。

その結果、市長提出議案及び平成29年12月定例会で継続審査としていた平成28年度各会計歳入歳出決算認定議案17件をいずれも原案のとおり可決、認定、同意、適任とし、議員提出議案については、否決と決定しました。

(議決した議案の一覧については12ページをご覧ください。)

## 3月定例会日程(会期22日間)

2日(金) 開会

(会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程)

7日(水) 一般質問

8日(木) 一般質問

12日(月) 一般質問

議案質疑、委員会付託

13日(火) 建設委員会

14日(水) 産業経済委員会

19日(月) 文教厚生委員会

20日(火) 総務委員会

23日(金) 閉会

(各常任・特別委員長報告、質疑、討論、採決、人事案件提案理由説明、採決、閉会中の継続調査)

## 同意した人事議案

## ○副市長

恵来 和男(吉井町)

西田 修(中大野町)

## ○人権擁護委員

吉岡 和子(新野町)

杉本由美子(那賀川町)

## 一般質問を行った議員

## ○代表質問(90分) 4人

表原 立磨

(自民創生会)

福谷 美樹夫

(市民クラブ)

武田 光普

(光政会)

星加 美保

(新生阿南)

## ○個人質問(60分) 8人

横田 守弘

久米 良久

幸坂 孝則

井坂 重廣

陶久 晃一

荒谷 みどり

住友 利広

小野 毅

質問の順序は、代表質問は輪番制で、個人質問は抽選により決定しています。

# 平成28年度一般会計及び特別会計決算の審査概要

12月定例会において継続審査としていた、平成28年度一般会計及び16事業の特別会計を合わせた計17件の決算認定議案について、2月8日、9日の日程で決算審査特別委員会を開催し、議案の審査を行いました。

以下、審査の過程で出された主な質疑等の内容を報告します。

## 一般会計歳入歳出決算

### ◆財政状況について

財政力指数、経常一般財源比率、経常収支比率が軒並み悪化しているが、この数年間の傾向と今後の行財政改革をどのように考えているのかとの質疑があり、各指標においては、国が定める早期健全化基準、財政再生基準内の値であり、実質公債費率は、昨年度は0・6%改善し5・1%となつている。将来負担比率における負担はないが、前

年度より18・4ポイント悪化している。その要因として、法人市民税が大幅に減少したことや、財政調整基金をはじめ、多額の取り崩し、繰入れを行った結果、悪化したものと分析している。

今後の各指標については、自主財源の動向にもよるが、保有基金残高の減少や地方交付税上、公債費算入の低い市債の発行が見込まれ、実質的な公債負担や将来負担額の増加が予想されることから引き続き慎重な財政運営に努めたいとの説明があった。

### ◆サテライトオフィス推進事業

サテライトオフィス推進事業の内容と成果について質疑があり、サテライトオフィスの開設に向けた実証実験を実施し、従来とは違ったサテライトオフィスの誘致が可能であるとの結果がでてきている。また、プロライターの育成講座を実施し、

将来的な自立に向けたレベルアップした成果がでており、今後も積極的に取り組んでいきたいとの説明があった。

### 住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算

貸付金の残額はいくらか、また、地方債の償還が終了した後の会計をどのように考えているのかとの質疑があり、平成29年12月末現在の未償還額は、2億241万5793円である。また、地方債の償還は、平成33年3月31日で終了するが、終了後も会計を閉鎖せず、引き続き未収金の回収を行い、実質収支額を一般会計に繰り戻していく方法と、会計を閉鎖し、債権管理及び未収金の回収に努めていく方法が考えられるが、その他の方法を含めて慎重に協議していく必要があるとの説明があった。

### 学校給食事業特別会計歳入歳出決算

収入未済額の件数と金額はいくらか、また、未納期間と徴収方法について質疑があり、平成28年度の収入未済額は、1件、2万865円で約5カ月分が未納となっている。徴収方法については、学校からの連絡を受け、督促状を発送したうえで電話と訪宅により対応しているとの説明があった。また、この説明を受けて、学校給食という様々な理由も考慮しつつ、早期に徴収できる方法を考えていただきたいとの要望があった。



## 本会議の生中継を ご覧いただけます

ケーブルテレビにより本会議の開会・一般質問・閉会の模様を生放送しています。

※時間は 午前10時から本会議終了まで  
※チャンネルは 11chでご覧いただけます。

なお、放送や放送内容など詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

## 会議録の閲覧ができます

定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

### ①製本会議録を閲覧する方法

お近くの「公民館」、市内「図書館」に製本会議録を配本しています。

### ②インターネットで閲覧する方法

阿南市ホームページ <http://www.city.anan.tokushima.jp/> から阿南市議会→会議録検索を選択すると閲覧することができます。

# 一般質問ダイジェスト

## 市長の政治姿勢

### ◇東京事務所

**Q** 東京事務所の事業開始から現在に至る予算執行額は。また、本質的な成果について、データ並びにその根拠は。

**A** 平成24年度から平成28年度までの職員の給与費を含む予算執行額は、1億3541万3000円となっている。

これまでの取組の成果は、要望活動を効率的に行うための事前調査をはじめ、首都圏の各種イベントを通じた本市のPR活動、東京・阿南ふるさと会を柱としたネットワークの拡大による会員同士の商談や販路拡大による事業者間のマッチングも図っている。

また、本市への移住者数は、平成29年度の上半期で県内24市町村中240人と一番多くなっている。これらの活動は東京オリンピックまでを目的としているが、事務所の開設

については非常に効果があったと考えている。



東京事務所がある市政会館(東京都千代田区)

### 職員の現状

### ◇職員数削減

**Q** 組織内部を見直し、部署の統合並びに業務の効率化を図るとのことだが、職員数を削減しては。

**A** 平成30年度組織機構で、組織のスリム化と意思決定の迅速化を図り、市民サービスの向上等につなげるため、幾つかの部署を再編統合する予定としている。

また、業務量が大幅に増加

している部署は、市民サービスの低下や職員への過重な負担を招かないよう、職員体制の強化を図ることとしており、平成30年4月1日の職員数は前年度と比べて微増となる見込みである。

今後においても、職員の適正な定員管理に努めるとともに、新たな行政課題にも対応した市民満足度の高い行政サービスを提供できる組織機構を構築していきたい。

### 行財政改革

### ◇公共施設等総合管理計画

**Q** 増え続ける建物系公共施設の人口動態に合わせたマネジメント改革をどのように断行するのか、具体的な取組は。

**A** 公共施設の利用状況等の実態を把握し、費用対効果の検証を行い、検証後、各所管において公共施設の統廃合等の方針を定め、個別施設計画を定めていくことが肝要である。

しかし、公共施設等総合管理計画が、既に所管課におい

て進めている施設整備の推進計画等と矛盾してくることもあり得ることから、市民サービス全体及び財政的な視点に立つて、行政計画の総合調整を図っていくことが必要となってくる。そのため、現段階では、施設全体のガバナンスを行える全庁横断的な推進体制を検討している。

### 防災対策

### ◇市役所本庁舎での避難訓練

**Q** 新庁舎の完成後、避難訓練等が実施されていない。市民が避難してきた場合を想定し、避難訓練を早急に実施すべきでないか。

**A** 南海トラフ巨大地震が発生した場合、通常業務を全て一時停止し、市民の命をつなぐための災害対応業務を最優先する。具体的には、津波到達までの間は、津波の浸水が想定される地域に在住・勤務する市民、職員の安全確保のため、率先避難と避難誘導を実施する。市役所低層部1階中央にある大空間のあなんフォーラムは、津波の発生

直後から津波が収束するまでのおおむね数時間から数十時間、住民の安全を確保するための緊急避難場所として指定しており、750人の避難者を収容するスペースとして利用するなど、市民の安心・安全を守る新庁舎として市民への周知を行っており、避難訓練の実施も必要と考えている。



緊急避難場所となるあなんフォーラム

### 移住・定住促進

### ◇移住、定住化対策

**Q** 本市の移住に関する情報をどのように発信しているのか。

**A** 平成27年4月に移住交流支援センターを開設し、

移住者の誘致のためにさまざまな広報手段を通して移住促進に関する周知、広報に取り組んでいる。

具体的には、移住PR動画を制作し、インターネット上で公開しているほか、総務省が運営する全国移住ナビや移住・交流推進機構をはじめとする移住ポータルサイト内に移住関連施策や地域情報を掲載し、本市への移住を呼びかけている。

また、移住希望者が知りたい情報を簡潔にわかりやすく記載したパンフレットを作成し、東京事務所と連携して、移住関連フェアや首都圏内で開催されるイベント等にて配布するなど、情報がダイレクトに伝わり、かつ手元に残る紙媒体による周知、広報にも力を入れている。



移住関連フェアの様子

## 公共交通

### ◇バス路線の延伸計画

**Q** 現在運行しているバス路線を延伸する計画はあるのか。また、新しいバス路線の運行計画はどのようにして決定していくのか。

**A** バス路線の延伸計画は、利用者数の見込みや路線の採算性をもとに、運行事業者である徳島バス阿南株式会社と協議を重ね、新野路線の喜来・川亦方面及び循環バス路線の羽ノ浦町古毛・明見方面の2つの路線の延伸を予定している。本年7月までに運行事業者から国土交通省へ運行計画を申請し、運行認可が承認となれば、平成30年10月1日から新路線の運行を行う予定である。

また、新しいバス路線の運行は、運行事業者の不採算収支が続いていることによる経営上の問題やバス運転手の不足及び労働基準法等に定める運転時間等の労務管理など、解決すべき課題が山積している。今後、平成31年春の阿南

医療センターの開院に合わせ、バス路線の全体的な見直しを予定しており、安全・安心な地域公共交通の確立を図るため、効率的な運行計画を検討していきたい。



循環バス（ナカちゃん号）

## 環境行政

### ◇ごみ収集業務

**Q** 異常気象により災害が発生し、ごみ収集に支障を来しているところがあると聞くが、災害時の対応は。

**A** 異常気象による風水害時には、大量の粗大ごみや不燃ごみ等の発生が予測され、平常時と同様の収集対応が困難になることが予想される。災害発生時には、早急に

市内の被害状況を把握し、家庭ごみの収集運搬業務に支障を来すことのないよう、万全な体制で全庁を挙げて、品目別に班編成を組み、災害ごみ収集を早急に行い、被災された方々の一日も早い復旧を目指し、迷惑をかけることのないよう対応したい。

## 地域医療

### ◇阿南共栄病院の跡地利用

**Q** 阿南医療センターの開院を来春に控え、早急に方策を考える時期ではないかと思うが。

**A** 阿南医療センター設立に向けての覚書の中で、跡地利用について協力することを規定している。阿南共栄病院は、昭和12年開設以来、長きにわたり羽ノ浦地区の健康保持増進はもとより、まちの活性化にも貢献してきた。

また、病院用地は約2万平方メートル。甲子園球場の半分程度。そのうちの約4700平方メートルは借地と伺っている。土地・建物の所有者であるJA徳島厚生連や地元

の意向もあるが、財政状況等見極めながら、総合的に検討をして、羽ノ浦地区の活性化につながる方針を考えていきたい。



JA徳島厚生連 阿南共栄病院

## 子育て支援

### ◇放課後児童クラブ

**Q** 放課後児童クラブは、現在、23カ所713人が利用しており、今後も利用者数が増加していくことが予想されるが、平成29年度に充実させた点は。

**A** 平成29年度は、富岡第三児童クラブ、羽ノ浦第三児童クラブ、見能林児童クラブの3カ所を新たに開設し、待機児童解消に向けての取組を行った。

また、30年度は、橘児童クラブ、山口児童クラブ、平島第三児童クラブの3カ所を新たに開設し、子育て支援の充実に向け取り組んでいきたい。

### ◇保育所の保育延長

**Q** 公立保育所の延長保育は、少子化対策に少なからずともつながると思うが、実施は。

**A** 現在、私立保育所の6カ所全ての保育所において延長保育を実施しているが、公立保育所は、宝田保育所、橘こどもセンター、羽ノ浦さくら保育所の3カ所のみ延長保育を実施している。今後、他の保育所も、保護者のさまざまな保育ニーズに対応するため、保育士不足等の問題があるが、延長保育の取組に向け検討したい。



阿南市橘こどもセンター

### 介護保険事業

### ◇在宅医療・介護連携推進事業

**Q** 全国的に実施される在宅医療・介護連携推進事業を進めるため設置された阿南市在宅医療・介護連携支援センターの活動状況と平成30年度以降の事業内容は。

**A** 本事業は、社会福祉法人健祥会に業務を委託し、毎月定期的に事業の推移について協議を行いながら実施している。

活動状況は、本年度に地域の医療と介護の資源を把握し、市内6カ所にある高齢者お世話センターの多職種連携会議の実施や医療従事者による研修会を実施した。

平成30年度以降の事業内容は、本年度中に把握した医療・介護の資源の更新や阿南市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、課題の抽出、対応策の検討、毎年度の実施計画の策定と事業の推進を行う。また、多職種連携会議の開

催により、事業所間の連携強化を行い、阿南市医師会と協議しながら、在宅医療と介護サービスが提供されるための体制整備や地域住民への普及啓発等を行う予定である。



いきいき100歳体操のようす

### ◇介護予防・日常生活支援総合事業

**Q** 平成29年4月から始まった介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況と顕著化した課題は。

**A** 従来の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護に相当する専門職のサービスと人員等の指定基準の緩和を行い、市が実施する研修受講者について、サービス提供を可能とした緩和基準によるサー

ビスの提供体制を整備している。

また、介護予防事業は、高齢者ができる限り要介護状態となることを予防し、健康でその人らしい暮らしができることを目指すとともに、地域全体が健康で通いの場を拠点とした、人と人のつながりにより支え合える地域づくりを旨とし、住民主体の介護予防事業に重点を置き取り組んできた。その結果、運動機能向上を目的としたいきいき100歳体操は、2月9日現在、74グループ、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり及び定期的な通いの場である「あななんサロン」54グループが住民主体で活動を行っている。

今後は、住民運営の通いの場の充実を図り、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、専門的なサービスが必要な方には、適切なサービス提供を行うことができる体制整備並びに高齢者の方の状態やニーズを把握し、それに合った支援のあり方を検討していくことが必要であると考えている。

### 福祉行政

### ◇高齢者へのバス券の支給

**Q** 本市では、年齢が70歳以上で前年度市民税所得割額が5万円以下の方に對して、年間72枚、月割りで6枚のバス券が支給されているが、枚数をもう少し増やすことはできないか。

**A** 現在、申請対象者に対する申請者の割合が少なく、支給枚数に対する使用枚数も少ないという状況である。配布数を増やすことは、まずは利用促進に努め、支給された枚数の利用割合が増加した時点で、利用者の意見や現状を把握しながら検討していきたい。



バス券交付のようす

### 保健福祉施策

#### ◇中学生のピロリ菌検査事業

**Q** 平成30年度当初予算に中学生ピロリ菌検査事業費を計上しているが、なぜ中学3年生を対象にしているのか。また、実施方法とその効果は。

**A** ピロリ菌は、胃炎や胃がんなどの胃の病気と深くかかわっており、その感染源は、ピロリ菌に感染している親からの口移しや飲み物の回し飲みなど、家庭内での感染が主な原因であるときれ、乳幼児期に感染しやすいと言われている。

ピロリ菌の検査方法は、尿検査を採用し、その対象は、徳島県生活習慣病管理指導協議会胃がん部会の指導により、中学3年生としている。

中学生ピロリ菌検査事業を実施することで、将来の胃炎や胃がんなどの胃の病気の発症するリスクを軽減するとともに、その保護者に対しても、胃がん検診を受診する動機づけになるものと期待している。

### かもだ岬温泉保養施設

#### ◇かもだ岬温泉の活性化

**Q** かもだ岬温泉を期間限定でキャンプ場として認めては。また、キャンプ場以外の活性化策は。

**A** 市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、健全なレクリエーションの振興に寄与することを目的に設置された施設であり、現在は、申請者の自己責任による管理運営を条件に許可している。

しかし、本施設をキャンプ場として正式な使用を認めること、周辺環境整備、人員を含めた管理体制及び維持管理、経費等の問題について検討する必要がある。



かもだ岬温泉保養センター

### 野球のまち推進事業

また、キャンプ場以外の活性化策についても、利用者のためのサービス向上につながるようアンケート調査を実施するなど、利用者からのニーズの把握に努める中で検討したい。

#### ◇野球のまち阿南

**Q** 事業開始10年を迎えた野球のまち推進事業の主たる成果と今後の課題は。

**A** 地域で盛んに行われている野球を産業として捉え、全国に発信したところ、スポーツツーリズムの先駆けとして全国的な注目を集めることとなり、年間約3000人の宿泊客と約7000人の日帰



選抜高校野球出場校の事前合宿の受け入れ

り客を集められる事業に成長した。

課題としては、最近、台湾、中国からの合宿の申し入れが増え、既存の野球場では対応できない状況になりつつあり、今後、検討する必要がある。

### 農業振興

#### ◇農地の集約化

**Q** 農地の集約化の現状と今後の取組は。

**A** 平成26年度から農地中間管理事業による集約を推進しているが、農業者の高齢化や後継者不足により、多面的機能の低下が進む農地がふえつつある。その対策として、意欲を持った前向きな担い手である農業法人や認定農業者、新規就農者等が活躍できるよう、農地中間管理事業を始めとした各制度を活用し、農地集約を進めているところである。

今後も引き続き各種制度を利用し、作業の効率化、生産・出荷コストの低減及び農業収益の向上に向け、農業法人や認定農業者等を含む担い手へ

### 道路整備

#### ◇JR踏切の改良

**Q** 横見町前田の踏切の改良は、地域住民の切実な願いで最大限の取り組みを願うが、見解は。

**A** 本踏切は、横見保育所から南東方向へ約330メートルに位置し、市道横見中央線にある踏切で、線路部分が一番高く、マウンド状態となっており、市道の利用者はマウンド付近まで接近しないと対向してくる歩行者、車両等の確認がとりにくく、その上、道路の幅員が最も狭くなっている。

現況を踏まえ、検証を行い、当該区間の安全性の確保から、踏切の改良を基本とする道路拡幅計画を行う予定としているが、JR四国との協議が必須となり、その協議には相当の時間を要することが予想される。協議の状況等により、まずは踏切の前後の市道拡幅から段階的に取りかき、効果の発揮を目指していくこと

の集約を進めていきたい。

も一つの手法と考えている。



横見町前田のJR踏切

## 公共施設の整備

### ◇公営住宅の建替え

**Q** 公営住宅の老朽化が進み、建替えを検討していると思うが、建替えの時期はいつ頃か。また、優先順位の基準は。

**A** 現在、春日野団地と古庄団地の集約建替えとして8棟、86戸の建設工事を平成25年に着手し、平成35年度完成を目指している。平成36年度以降も、公営住宅等長寿命化計画をもとに、財政状況や公営住宅に対する需要の動向を見極めながら、取り組んでいきたい。

建替えの優先順位は、建物

の建設年度や利便性及び周辺環境や自然災害に対する安全性を考慮するなどの立地条件を評価項目とし、総合的に判断して優先順位の基準としている。

本市の公営住宅建替えは、団地数も多く、長期に及ぶことから、国の交付金の状況や関係する制度を注視しながら、適正な管理に努めるとともに、計画的な建替えを進めていきたい。

## まちづくり行政

### ◇阿南駅周辺の開発

**Q** 阿南駅周辺の再開発事業の根幹である阿南の中心市街地にどのような機能を持たせるのか、将来ビジョンは。

**A** 阿南駅周辺は6つの拠点の一つであり、都市拠点として位置づけしており、市民の多様なニーズに応えられる高次な医療・福祉・文化・学習・商業や行政サービス等の各種都市機能を保全・集約し、求心力の強化等を図る将来計画としている。

また、具体的に誘導を図る施設などは、阿南市立地適正化計画都市機能誘導に係る検討に関するパブリックコメントの中で、医療施設・文化・学習施設及び商業施設等を提示しているが、阿南駅周辺整備事業は、阿南駅が市の顔、県南の顔となるよう、市街地整備の促進や多様な都市機能を集約した都市構造づくりを念頭に、基本計画として取りまとめていきたい。



阿南駅周辺の様子

## 水道行政

### ◇水道の耐震管施工

**Q** 耐震管の布設状況については、毎年何キロメートル程度進めていく予定か。また、管路の更新率、耐震管率は。

**A** 平成28年3月に策定した阿南市新水道ビジョンの趣旨に沿って、新設や老朽管の布設替えを行う管路から順次耐震化を進めている。市内には約700キロメートルにも及ぶ管路があり、長期にわたる期間が必要である。

年度ごとの老朽管布設替えは、毎年約3キロメートル、15年間で約45キロメートルを予定している。予定どおりの管路更新が行われると、毎年の更新率は約0.5%となる。耐震管は、全てを耐震管にするのは非常にコスト的に厳しいものがあるが、更新時に主要管路から優先順位を決めて進めていく。

## 教育行政

### ◇羽ノ浦小学校の校舎

**Q** 羽ノ浦小学校は、昭和49年3月に建築し、既に44年が経過している。防災の面からも老朽化した校舎改築を検討すべきでは。

**A** 教育委員会で移転改築の方向で用地選定の検討をしていたが、地元から現在の場所での改築を望む声もあり、まずは現在地での建替えの方法や手順等について検討を重ねている。

しかし、現在の敷地は、児童数の規模からすると大変狭く、また、運動場と校舎との間には水路が存在しているなど、現校舎を使用しながら新築校舎を建設することは大変困難であることから、今後、学校に隣接する土地を活用し、改築の可能性を検討するとともに、関係各課との協議を重ねたい。



築44年の羽ノ浦小学校



### 指定管理者制度

#### ◇科学センターの指定管理者制度導入

**Q** 科学センター業務の民間委託等の検討は、29年度と30年度で調査研究を行い、31年度に方針を決定するとしている。指定管理者制度を導入しては。

**A** 現在、市内小学校22校の3年生から6年生の児童を対象に、科学センターの実験室を使って理科学習を行っている。科学センターにある充実した視聴覚機器や実験器具、プラネタリウムなどを使って、学習効果の高い授業を提供し、29年度は、夏休みなど学校休業日を除いた平日に90日間で118クラスの児童が来館している。

こうした授業を展開している施設は、国内で本市を含め出雲市科学館、栃木県の真岡科学教育センターの3施設しかなく、いずれの施設も学校との連携が不可欠であること、現職の理科教員を指導できるほどの高度な知識を有する指

導員が必要であることから、運営は教育委員会が直轄で行っている。

本市も理科好きが増えるよう、楽しく学べる学習づくりが必要であり、指定管理者制度の導入は慎重に検討したい。



科学センターでの理科学習の様子

### 南部健康運動公園

#### ◇陸上競技場のグラウンドナイター設備

**Q** 全国でナイター競技場はあっても、LED照明のナイター競技場はない。光のまち阿南で全国モデルとなるLED照明の競技場を完成しては。

**A** 夜間照明4基と自家発電機を整備する計画であり、

災害時の夜間活動を支援するものであることから、10ルクス程度の照度となるが、将来的には照度アップが可能となるよう、受電設備の設置、配管の増設等に対応できるように工夫していくとのことである。

本市としては、南部健康運動公園が利用者にとつてより利用しやすい施設となるよう、今後とも各分野にわたつてグランドを上げていくという観点から県に対して要望していきたい。

#### ◇陸上競技場を活用した公認マラソンコース

**Q** 陸上競技場をスタート・ゴールで、交通量の少ない安全なマラソンコースがあると聞くと、公認のマラソンコースを設置して、市民マラソンや駅伝などを実施しては。

**A** マラソン、駅伝を新たなコースで開催するために、コースとなる道路の幅員、交通量、安全性などの検討はもちろんのこと、運営面においても警察や道路管理者等との協議や地元協力の協力が重要となる。現在、整備中の南

部健康運動公園の陸上競技場をスタート・ゴールとするマラソン、駅伝のコースの設置は、阿南市陸上競技協会、警察、道路管理者等からの意見を参考とし、今後の方向性について検討したい。



現在整備中の南部健康運動公園陸上競技場

### 教育行政

#### ◇小中学校の再編統合

**Q** 学校の再編統合について、プロジェクトの素案はできているのか。

**A** 小中学校の再編統合は、避けて通ることのできない重要かつ喫緊の課題であると認識している。今日の小中学校は、地域とともにある学校づくりが強く求められてお

り、再編統合の議論は、統合後にも保護者や地域住民から積極的なサポートを得られるよう学校づくりを進めることが不可欠であり、保護者や地域住民の意向を基本計画に反映できるように、工夫を講じることが大変重要である。

教育委員会では、円滑な合意形成を図るため、統合の効果や課題を具体的に示す資料データとしてどのようなものが必要か、また、再編統合の検討体制をどのように工夫すればよいかなど、来年度に立ち上げるプロジェクトチームで議論すべき事柄を整理しているところである。

#### ◇給食費の無料化

**Q** 三好市では来年度から中学生の給食費を無料にするとのことだが、本市も考えてみてはどうか。

**A** 平成30年度中学校給食費は、1億3700万円程度の歳入を見込んでいます。財政を圧迫しないために公平な負担と、学校給食を将来にわたり持続するために、給食費は保護者が負担すべきものと考えています。

給食費の負担が困難な家庭には、就学援助、教育扶助の制度で負担の軽減はできるものと考えている。

## 消防行政

### ◇消防体制の充実強化

**Q** 救急車の適正な利用を啓発するため、家庭での応急処置や正しい病気の理解など、市民が救急時に慌てず対応できる知識の普及が必要では。

**A** 救急車の適正利用の広報として、阿南市消防本部ホームページや救急車適正利用広報ポスターの配布などにより広報活動を行っている。

また、家庭での応急処置や正しい病気の理解は、応急手当て普及活動の救命講習会等を随時開催し、昨年1年間で103回、受講人数2907人に応急処置や正しい病気の理解など、知識の普及に努めてきたが、今後も応急手当て普及活動や救急受診情報サイトなど、情報ツールを活用した広報活動を推進していきたい。

## 行政視察の受入状況

全国議会関係者からの行政視察を積極的に受け入れています。

2月2日	福島県須賀川市議会議員 8人	「庁舎機能及び活用について」
	東京都調布市議会議員 7人	「新庁舎建設事業」
2月5日	千葉県市川市議会議員 2人	「新庁舎建設事業」
2月7日	静岡県長泉町議会議員 5人	「エコパーク阿南」
2月13日	高知県宿毛市議会議員 9人	「自衛隊との関わり」
2月15日	北海道室蘭市議会議員 2人	「新庁舎建設事業」



行政視察のようす

## 6月定例会の予定

6月8日(金)	開会
6月13日(水)	一般質問
6月14日(木)	一般質問
6月15日(金)	一般質問
6月18日(月)	委員会
6月19日(火)	委員会
6月20日(水)	委員会
6月21日(木)	委員会
6月25日(月)	採決・閉会

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。電話22-3399

## 本会議・委員会は公開しています

議会開会中は、本会議や委員会をどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、市役所3階の傍聴受付にて、住所・氏名等を記入し、傍聴席に座って傍聴していただきます。

傍聴席の定員は、本会議が44人、委員会は10人となっています。

皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

## 編集後記

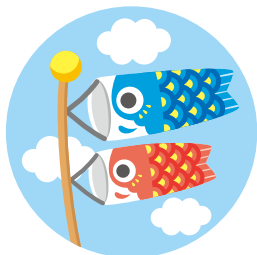
今年の春は突然訪れて、見事な桜を咲かせてくれました。そして青葉、若葉の季節になり、爽やかに議会だより5月号をお届けいたします。

さて、昨年12月定例会からケーブルテレビによる生中継が始まり、議会の様子が広く市民の皆様に公開される状況となりました。

議会だよりも多くの市民の皆様が読んでいただける紙面づくりを目指して努力いたしております。

議会だよりその他、皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。

議会だより編集委員会



# 委員会の審査状況

各常任委員会では、付託された議案の審査を行いました。  
以下審査の過程で出された主な質疑・意見等の内容を報告します。

## 建設委員会

### 市長提出議案6件を審査

◇一般会計予算の関係部分では、土木費の道路橋りょう整備交付金事業費の新規事業として実施する、トンネル点検及び通学路整備の内容について質疑があり、トンネル点検については、蒲生田トンネル、元信1号、2号トンネルの3カ所を予定しており、通学路整備については、児童の安全確保のため富岡商店街、富岡小学校西側の市道整備を予定しているとの説明があった。

◇民間建築物耐震化支援事業補助金の事業内容について質疑があり、要安全確認計画記載建築物耐震診断については、耐震改修促進法の改正を受け、南海トラフ巨大地震の備えとして、緊急輸送道路に面する建築物のうち、昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられ、

一定の高さを超える建築物の耐震診断を義務付けており、本市では、旧国道55号線沿いの80戸が該当する耐震診断の補助金である。また、民間建築物耐震診断及び民間建築物耐震改修については、市内の昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられた、3階以上、1千平方メートル以上の特

## 産業経済委員会

### 市長提出議案5件を審査

定建築物の所有者を対象とした診断、改修事業の補助金であるとの説明があった。

◇あなんスマート・ワークオフィス条例の制定では、オフィスの開館時間が午前9時から午後9時とやや長くなっている理由について質疑があり、開館時間については、先進事例である神山町の「神山バレ

ンプレックス」や海陽町の「サテライト・コワーキングセンター」を参考としつつ、時間や場所にとらわれない新しい働き方につながるモデル施設となるよう、必要な時間に必要業務を行っていただくための時間設定をしたものであるとの説明があった。

◇一般会計予算の関係部分では、農業用施設新設維持費に計上している農道トンネル点検事業の内容について質疑があり、国が策定したインフラ長寿命化基本計画に基づく取組であり、市が管理する喜来トンネル、元信トンネル、新野トンネル、つばき夢トンネルの4カ所において、点検時期、保全対策時期、保全対策費等、施設のメンテナンスサイクルを把握するために実施するもので、これにより、保全対策コストの最小化や、保全対策の効率化・平準化が見込めるとの説明があった。

## 文教厚生委員会

### 市長提出議案26件を審査

◇一般会計予算の関係部分では、阿南医療センターは、来

年度、竣工されるが、地域医療確立対策協議会補助金300万円を交付する理由について質疑があり、阿南医療センター整備事業費への国、県の交付金は、平成27年度が10億円、平成28年度10億円、平成29年度5億円交付している。総額で35億円の交付金を目指していることから、平成30年度も10億円の要望を指している。地域医療確立対策協議会が官民一体、地域総ぐるみで財源確保のための要望活動を行うことにより、医療センター整備に対する国及び県の深い理解を得て、大きな成果を上げているとの説明があった。

## 総務委員会

### 市長提出議案8件、議員提出議案1件を審査

◇一般会計予算の関係部分では、庁舎完成から1年が経過し、庁舎のメリットとしてどのような成果があったかとの質疑があり、新庁舎は自然の光と風をやさしく取り込む、省CO<sub>2</sub>モデル庁舎として、国土交通省の補助マニュアル

に基づき、エネルギー使用量と省CO<sub>2</sub>技術導入の成果について、業務開始翌年度の平成30年度から3年間、成果を検証し、毎年、国に報告することとなっており、今後、効果の発現を期待している。また、大規模災害時の防災拠点である災害に強い安心安全な庁舎というのがコンセプトの柱である。国土交通省住宅局では、防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドラインの策定に向けた検討委員会が設置され、防災拠点建築物となる事例の一つとして本市新庁舎が検討委員会で取り上げられたことは大きな成果と考えているとの説明があった。



総務委員会のようす

# 3月定例会議決結果一覧

## (条例議案)

第1号議案	輝けあなんふるさと創造基金条例の制定について	(原案可決)
第2号議案	阿南市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の制定について	(原案可決)
第3号議案	阿南市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準等に関する条例の制定について	(原案可決)
第4号議案	あなんスマート・ワークオフィス条例の制定について	(原案可決)
第5号議案	阿南市職員定数条例の一部改正について	(原案可決)
第6号議案	阿南市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第7号議案	阿南市国民健康保険条例の一部改正について	(原案可決)
第8号議案	阿南市国民健康保険税条例の一部改正について	(原案可決)
第9号議案	阿南市介護保険条例の一部改正について	(原案可決)
第10号議案	阿南市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第11号議案	阿南市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	(原案可決)
第12号議案	阿南市消防手数料条例の一部改正について	(原案可決)
第13号議案	阿南市ふるさと・水と土保全基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	(原案可決)

## (補正予算議案)

第14号議案	平成29年度阿南市一般会計補正予算(第6号)について	(原案可決)
第15号議案	平成29年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第16号議案	平成29年度阿南市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第17号議案	平成29年度阿南市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	(原案可決)
第18号議案	平成29年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第19号議案	平成29年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第20号議案	平成29年度阿南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	(原案可決)
第21号議案	平成29年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)

## (当初予算議案)

第22号議案	平成30年度阿南市一般会計予算について	(原案可決)
第23号議案	平成30年度阿南市国民健康保険事業特別会計予算について	(原案可決)
第24号議案	平成30年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計予算について	(原案可決)
第25号議案	平成30年度阿南市伊島診療所事業特別会計予算について	(原案可決)
第26号議案	平成30年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計予算について	(原案可決)
第27号議案	平成30年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計予算について	(原案可決)
第28号議案	平成30年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	(原案可決)
第29号議案	平成30年度阿南市公共下水道事業特別会計予算について	(原案可決)
第30号議案	平成30年度阿南市介護保険事業特別会計予算について	(原案可決)
第31号議案	平成30年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計予算について	(原案可決)
第32号議案	平成30年度阿南市学校給食事業特別会計予算について	(原案可決)
第33号議案	平成30年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計予算について	(原案可決)
第34号議案	平成30年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計予算について	(原案可決)
第35号議案	平成30年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計予算について	(原案可決)
第36号議案	平成30年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計予算について	(原案可決)
第37号議案	平成30年度阿南市後期高齢者医療特別会計予算について	(原案可決)
第38号議案	平成30年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計予算について	(原案可決)
第39号議案	平成30年度阿南市水道事業会計予算について	(原案可決)

## (人事議案)

第40号議案	副市長の選任について	(原案同意)
第41号議案	副市長の選任について	(原案同意)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	(適任)
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	(適任)

## (議員提出議案)

議第1号	新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書	(原案否決)
------	------------------------------	--------

## (12月定例会で継続審査となっていた決算認定議案)

第7号議案	平成28年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第8号議案	平成28年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第9号議案	平成28年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第10号議案	平成28年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第11号議案	平成28年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第12号議案	平成28年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第13号議案	平成28年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第14号議案	平成28年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第15号議案	平成28年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第16号議案	平成28年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第17号議案	平成28年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第18号議案	平成28年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第19号議案	平成28年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第20号議案	平成28年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第21号議案	平成28年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第22号議案	平成28年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第23号議案	平成28年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)